

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成26年11月27日 午後7時00分から午後8時45分まで
3 会場	西部公民館 1階 大ホール
4 出席者	高橋会長、湊委員、石塚委員、小市委員、塩野崎委員、渋谷委員、清水委員、関口委員、田畑冨子委員、田畑裕康委員、濱村委員、堀内委員、宮下委員、母袋委員、山崎委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進担当係長、堀内市民参加・協働推進担当係長、樋口市民参加・協働推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	7人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成26年12月11日

協 議 事 項 等

1 開 会 (高橋会長)

2 あいさつ (高橋会長)

3 協議事項

(1) 地域内分権について (中間報告)

- ・地域内分権推進に関する基本的な考え方、上田市の地域内分権の取組、将来的な地域まちづくり組織のイメージ、第4ステージの取組内容について事務局から説明

委員： この西部地域協議会では、都市計画の話になったり、まちづくりの話になったりと協議内容が多岐にわたっていて困惑する一方である。事務局の方で協議内容をある程度掌握して、全体像を示してほしい。

委員： この協議会は、西部地域をどういう地域にしていくかということを協議する場であって、地域協議会と地域経営会議の違いについて、どんな風に分担をしていくか協議することは非常に大事なことであると思う。そもそも協議会は市の附属機関であり、それに地域として答申するのがこの会議の本来の役割だが、諮問も度々はないので、自分達で積極的に地域の課題を考え解決に向けて市に対してまとめたことを提言しようということで分科会を作り活動していたというのが今までの地域協議会の経過である。しかし、今回地域にとって非常に重要な話が市から説明がされたので、しばらく分科会を中断して皆でそれについて協議をした方がいいと思う。

事務局： 次回から分科会をしばらく中断し、地域内分権や市からの諮問についての協議を全体で行っていきたいと思う。

会長： 資料が多くあるので次回までに資料に目を通していただき、次回活発な意見交換をお願いしたい。

委員： 住民自治組織の話は第4ステージが終了する平成32年までに設立していけばいいので余裕があると思う。関連して、今年度わがまち魅力アップ応援事業の予算は全体で1億円であるのに対し、西部地域で活用しているのは150万円程度と少なく、西部地域以外の地域がこの予算を使っているというのが現状である。住民自治組織というのを出来るだけ早く作って必要な予算を確保して、この地域の為にそれを活用していくということが大事な部分になってくる。平成32年はまだ先だからとってのんびりしていたら、進んでいく地域に遅れを取ってしまうので、のんびり構えてはいけないという認識が必要だと思う。

事務局： 現在、モデル地区の3地域（神科・豊殿地域、丸子地域、川西地域）は先行して来年3月に地域経営会議を設立する予定の流れになっていて、そこには既に地域担当職員を1名ずつ配置している。地域経営会議のステップを踏んで次に進むという流れを早く作るということは、この地域が遅れを取らないという意味で大事なことだと思う。

委員： 地域協議会は諮問機関だが、地域経営会議はその地域の課題解決のために予算をつけ、実行力のある組織を設置していくという認識でよいか。

事務局： 地域経営会議というのは最終的には住民自治組織を作るための組織である。地域経営会議は住民自治組織を作る準備組織だという考え方をしていただきたい。将来どういう組織にしていくか、どういう計画をたててやっていくか等を話し合う場所、準備会議である。予算についてはモデル地区で現在検討している段階である。

委員： 交付金は事業の一部分の扱いになると思うので、不足分はその地域が負担するようになるということか。

委員： そのように住民または自治会負担が生じるとしたら、住民は誰も自治組織を作るのを良いと言わないと思う。

事務局： この話はまだ話が検討段階なので、これから十分に検討していきたい。

委員： 地域経営会議の設立が進んだ場合、この地域協議会は何をすればいいのか、他の団体と連携を取らなければいけないのか、はっきりしないと話し合いができない。

事務局： 主体的にやっているのが地域協議会であったり、自治会や自治会連合会であったりと様々なケースが考えられるが、役割を明らかにして、進めていただくのがよろしいと思う。

委員： どこが主導権を握ってやっていくのか、はっきりしないとどう動いていいのかわからない。

事務局： 各地域の特色もあり、様々な団体が種々の活動をしておられる地域もあるため、皆さんで話し合って進めていく必要があると思う。

委員： 今後進めていくために、3つのモデル地区の形態についてこの協議会で提示していただきたい。

事務局： まだはっきりしない部分があるが、今年度中には地域経営会議を形にしたいと思ってやっている。もうしばらく時間がかかると思うが、分かり次第参考として示していきたいと思う。

委員： これまでは、分科会で様々な問題に取り組んでも、結果として実行力が無く、形に出来なかった難点が少なからずあったと思う。なので、新たに設立しようとする組織には、実行力もあり、決定力もあるようなものにして行くべきだと思う。また、どの組織が主になるかについては、新組織をメインとし、実行力も拘束力もあると地域の住民が判断すればそこがメインになるし、自治会をメインにしないと何も始まらないと考えれば、自治会をメインとした組織にしていけないといけなと思う。この件については、地域で時間をかけて検討しないといけなと思う。

会長： それでは資料をよく読んでいただき、次回、ご意見をお願いしたいと思う。

(2) 分科会

- ・協議の結果、本日の分科会は中止。

(3) 今後の予定

【次回日程】 平成26年12月22日(月) 午後7時から

4 その他

「第二次上田市総合計画」の諮問のあらましについて

- ・第二次上田市総合計画策定方針根拠及び計画の位置づけ、地域まちづくり方針の策定の趣旨、地域区分と策定の手順、地域協議会への諮問と答申について事務局から説明

委員： 第一次上田市総合計画の達成状況が分らないと、第二次上田市総合計画の検討が難しいと思う。

事務局： 第一次上田市総合計画の達成状況を表すシートを年内に作成し、皆さんにお示ししたいと思っている。

委員： 市から提案された素案について賛成か反対か協議すると思うが、そこにさらに我々の意見を追加する事は可能なのか。

事務局： 第一次上田市総合計画後期基本計画で、西部公民館の整備について追加した経過があるように、地域の方向性を示す文言であるので追加は可能である。

会長： 一点確認だが、第二次上田市総合計画について3月に答申する予定ということか。

事務局： 第1次上田市総合計画策定時には12月に諮問をし、2月に答申をしていただいたように、今回も1月に諮問をし、3月に答申していただくという大変短い期間となっている。今日の説明は、12月以降に皆さんに諮問をする、その前段としての説明をさせていただいた。

5 閉会